

令和2年度

成田高等学校



同窓会定例総会



[応援旗]

令和2年5月1日開催の同窓会役員会と6月7日に開催の総会は新型コロナウイルス流行の影響で中止となりました。

期日：6月7日（日）10時開会

場所：ホテルウェルコ成田

【成田高等学校同窓会定例総会日程】

| | |
|-----|-------------|
| 受付 | 9:30～10:00 |
| 総会 | 10:00～11:00 |
| 講演会 | 11:00～12:00 |
| 休憩 | 12:00～12:10 |
| 懇親会 | 12:10～14:00 |

次 第

1. 開会のことば
2. 物故会員に対し黙祷を捧げます
3. 会長挨拶
4. 学校長挨拶
5. 米寿のお祝い 2P
6. 議長選出
7. 議 事
 - ①令和元年度会務報告並びに決算報告承認の件
 - ◆会務報告並びに決算報告 3、4P
 - ◆監査報告 4P
 - ②令和2年度会務計画並びに予算案承認の件
 - ◆会務計画案説明 5P
 - ◆予算案説明 5P
 - ③令和2年度定例総会開催の件 6P
 - ④同窓会役員について
 - ⑤その他
8. 閉会のことば
9. 講演会 講師：高橋清孝氏 プロフィール 6P
 - 同窓会顧問・評議員・常任幹事会名簿 7P
 - 同窓会本部役員名簿 8P
10. 成田高等学校同窓会会則 9P
 - 【成高ニュース】
 - ◆令和元年 国公立、私立大学別合格者数 10P
 - ◆成田高等学校の歴史 11P

懇 親 会 次 第

1. 開会のことば
2. 乾 杯
3. 懇 親
4. 校 歌 斉 唱 (校歌集) 12P
5. 閉会のことば

- ◆第31回卒業生同期会幹事名簿 13P

米寿のお祝い



同窓の諸先輩が米寿の齢を迎えられました。心よりお慶びを申し上げます。
在校当時は太平洋戦争という非常時にあり学徒勤労動員、そして終戦を迎えると大変厳しい混乱の社会を逞しく生き抜き、様々な形で日本の復興と建設に貢献されました。今後ますますご長寿で安寧にお過ごしくださいませよう、心よりご祈念申し上げます。誠におめでとうございます。

ご出席予定者

高等学校第3回卒業生

※次年度同窓会総会にご招待する予定です。



職員室風景



野球部甲子園初出場(西宮球場)

令和元年度 会務報告

1. 平成31年4月25日（木）、同窓会役員会を母校・大会議室にて開催。
平成30年度の会務報告・会計報告、平成31年度の会務計画並びに予算案の承認を得た。続いて、平成31年度同窓会定例総会の開催について協議した。
2. 令和元年6月2日（日）、同窓会総会をホテルウェルコ成田にて開催。
総会に続く講演会では、小泉一成氏（成田市市長）が成田市の行政の現状と、今後の展望を分かり易くお話しいただいた。
米寿招待者は、各学年に散在しているため、今回は統一を図るため成田中学校（旧中）第48・49回、成田高等女学校（旧女）第37回卒、高等学校第1・2回に招待状を出し10名の出席を頂いた。
さらに総会幹事学年第30回卒業生の尽力を得て、参加者総数が約150名となり盛会裏に終了した。
3. 平成31年3月9日（土）、同窓会総会に参加の幹事学年として、高校第30回卒業生幹事会が活動を開始した。その後、4月6日・25日、5月18日と幹事会を開き入念な準備をした。
4. 『同窓会報第14号』は、編集会議を経て令和2年年2月29日付で発行・発送した。第10回記念号に続きカラー版での発行となった。
編集委員は以下のとおりである。（敬称略）

| | | | |
|-----|--------|------|-----------|
| 編集長 | 山田 徳雄 | 副編集長 | 石原 清 |
| 委員 | 実川 幸夫 | 委員 | 塚瀬日出子（会計） |
| 委員 | 池田 忠彦 | 委員 | 宮田 明俊 |
| 委員 | 諸岡由吏子 | 委員 | 小林 清治 |
| 委員 | 神谷 修一 | 委員 | 渡辺 吉彦 |
| 委員 | 伊藤 睦 | 委員 | 長谷 朝則 |
| 委員 | 土井 一彦 | 委員 | 三橋 恒子 |
| 委員 | 泉水 祐子 | 委員 | 滝澤 千香子 |
| 委員 | 榎田 伸一郎 | 委員 | 早川 公敏 |
| 委員 | 岡田 茜 | | |

5. 同窓会報の発行に際し、同窓会年会費を2,000円とする「振り込み用紙」を発送時に同封し、会報発行の費用に当てた。

令和元年度 同窓会収支決算書

成田高等学校同窓会

収入の部

単位：円

| 費目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 摘要 |
|--------|-----------|-----------|--------|-----------------|
| 会費 | 1,624,200 | 1,601,500 | 22,700 | 月額100円×延16,015名 |
| 雑収入 | 110,000 | 70,608 | 39,392 | シヨコラ売上・預金利息等 |
| 会運用基金 | 60,000 | 59,500 | 500 | |
| 前年度繰越金 | 828,219 | 828,219 | 0 | |
| 合計 | 2,622,419 | 2,559,827 | 62,592 | |

支出の部

単位：円

| 費目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 摘要 |
|--------|-----------|-----------|----------|-------------------|
| 事務費 | 30,000 | 0 | 30,000 | |
| 慶弔費 | 230,000 | 16,500 | 213,500 | 祝儀等 |
| 連絡費 | 320,000 | 199,324 | 120,676 | 郵送料 |
| 会議費 | 620,000 | 469,348 | 150,652 | 役員会議費・総会補助等 |
| 印刷費 | 100,000 | 27,840 | 72,160 | 葉書印刷代 |
| 会運用基金 | 60,000 | 59,500 | 500 | 別途積立金(1,325,470円) |
| 事業費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 母校助成金 |
| 備品費 | 50,000 | 0 | 50,000 | |
| 予備費 | 87,840 | 0 | 87,840 | |
| 手数料 | 150,000 | 123,428 | 26,572 | 名簿管理料 |
| 支出計 | 2,647,840 | 1,895,940 | 751,900 | |
| 次年度繰越金 | 0 | 663,887 | -663,887 | |
| 合計 | 2,647,840 | 2,559,827 | 88,013 | |

| | | | | | | |
|--------|----|---------|----|-----------|----------|---------|
| 総会収支決算 | 収入 | 911,400 | 支出 | 1,187,700 | -276,300 | 本会計より補助 |
|--------|----|---------|----|-----------|----------|---------|

上記の通り相違ないことを証明する。

令和2年5月1日

監事 諸岡 由吏子 ⑩
 // 小林 清治 ⑩
 // 神谷 修一 ⑩

令和元年度 会務計画（案）

1. 令和元年度役員会並びに総会の開催。（中止）
 役員会は、令和2年5月1日（金）成田高等学校1号館大会議室にて開催予定。
 総会は、令和2年6月2日（日）ホテルウェルコ成田にて開催を予定。
 米寿招待者は、高校3回卒。総会学年幹事は第31回・昭和54年3月卒業生。
2. 地区・支部活動の推進を図る。
3. 会員名簿の整理を継続。
 (株)廣濟堂と年間契約を更新し、会員名簿のメンテナンス作業を続行。
4. 『成田高校同窓会報第15号』の発行。
5. 同窓会ホームページは、母校ホームページの一角を使用する。
 - ・学校HPは、<http://www.narita.ac.jp>
 - ・同窓会独自のHPの開設については継続して検討して行く。

令和元年度 同窓会収支予算（案）

収入の部

単位：円

| 費目 | 予算額 | 前年度予算 | 差異 | 摘要 |
|--------|-----------|-----------|----------|-----------------|
| 会費 | 1,573,300 | 1,605,500 | -32,200 | 月額100円×延15,733名 |
| 雑収入 | 90,000 | 90,000 | 0 | |
| 会運用基金 | 60,000 | 60,000 | 0 | |
| 前年度繰越金 | 663,887 | 828,219 | -164,332 | |
| 合計 | 2,387,187 | 2,583,719 | -196,532 | |

支出の部

単位：円

| 費目 | 予算額 | 前年度予算 | 差異 | 摘要 |
|-------|-----------|-----------|----------|----|
| 事務費 | 40,000 | 40,000 | 0 | |
| 慶弔費 | 100,000 | 230,000 | -130,000 | |
| 連絡費 | 300,000 | 250,000 | 50,000 | |
| 会議費 | 600,000 | 600,000 | 0 | |
| 印刷費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 会運用基金 | 60,000 | 60,000 | 0 | |
| 事業費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| 備品費 | 10,000 | 50,000 | -40,000 | |
| 予備費 | 27,187 | 103,719 | -76,532 | |
| 手数料 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 合計 | 2,387,187 | 2,583,719 | -196,532 | |

令和元年度 同窓会定例総会

期 日：令和2年6月7日（日） 受付9時30分 開会10時

場 所：ホテルウェルコ成田 成田市花崎町818-1 ☎0476-23-7000

参加費：7,000円（うち500円は同窓会運営基金）

講演会：講師／高橋 清孝 氏

●高橋清孝氏略歴

【所属・役職】

日本生命保険相互会社
特別顧問

【経 歴】

昭和50年 成田高校卒業
昭和55年 東京大学法学部卒業
警察庁入庁
平成14年 沖縄県警察本部長
平成16年 警察庁警備局警備課長
平成19年 北海道警察本部長
平成20年 警視庁警備部長
平成21年 内閣官房審議官兼
危機管理審議官
平成23年 警視庁副總監
平成25年 警察庁警備局長
平成27年 警視總監（第92代）
平成28年 内閣危機管理監
平成31年 退官



※次年度同窓会での講演をお願いしてあります。

同窓会顧問・評議員・常任幹事会名簿

| | | | | | |
|------|------------|-------------|------------|------------|--|
| 名誉会長 | 橋本 照穂 中44回 | | | | |
| 顧問 | 松本 照敬 高13回 | 田中 康之 学校長 | 成尾 政美 高10回 | 奥川 幸夫 高14回 | |
| // | 須藤 浩 高28回 | 大澤 浩一 高18回 | | | |
| 評議員 | 関川 雅英 高教頭 | 早川 公敏 中教頭 | 鈴木 克彦 事務長 | 陰山 香 小教頭 | |
| // | 榎田伸一郎 高24回 | | | | |
| 常任幹事 | 栗原 廣信 中40回 | | | | |
| // | 野平 昭三 中45回 | 山口 凱史 中47回 | 山内 昇 中47回 | 伊藤 義一 中48回 | |
| // | 長谷川宏佑 中48回 | 久保田きく以 女34回 | 穴倉みち子 女35回 | 青山 京子 女35回 | |
| // | 石原 利男 高 2回 | | 塚田 唯夫 高 2回 | 榊原 行夫 高 4回 | |
| // | 谷 重吉 高 4回 | 伊藤 睦 高 4回 | 池田 漠 高 5回 | 清水愛之助 高 5回 | |
| // | 長谷 朝則 高 6回 | 小川 武彦 高 6回 | 岩井 武 高 6回 | 篠原 樹男 高 7回 | |
| // | 豊田 磐 高 7回 | 伊藤 康一 高 8回 | 石原 清 高 8回 | 渡辺 吉彦 高10回 | |
| // | | 澤田 喜信 高11回 | 稲葉 正 高12回 | 松本 弘 高12回 | |
| // | 伊藤 順子 高14回 | 桜井 優好 高17回 | 石井 和夫 高18回 | 上條美智江 高18回 | |
| // | 原 清一 高18回 | 山田 徳雄 高19回 | 小川新太郎 高19回 | 江波戸和夫 高20回 | |
| // | 鷹尾 英子 高20回 | 黒田 正人 高20回 | 下山 幸子 高21回 | 並木 律子 高22回 | |
| // | 古越 純良 高23回 | 設楽 淳子 高23回 | 鈴木 稔 高23回 | 大坂 俊男 高24回 | |
| // | 榎田伸一郎 高24回 | 板倉 雅代 高24回 | 大倉富重雄 高25回 | 大川 幸子 高26回 | |
| // | 島村 詳子 高26回 | 鈴木 薫 高27回 | 井上 裕之 高27回 | 平野真利子 高27回 | |
| // | 加藤美智子 高28回 | 木村 喜由 高28回 | 稲垣 勝彦 高29回 | 三橋 康孝 高29回 | |
| // | 諸岡 秀行 高30回 | 吉岡 詳江 高30回 | 山村 大剛 高31回 | 渡辺 昌美 高31回 | |
| // | 鈴木 隆英 高32回 | 加藤 浩史 高32回 | 山本 武志 高32回 | 唐仁原真子 高33回 | |
| // | 芦田 健 高33回 | 伊藤 禎之 高33回 | 甘利 信 高33回 | 立石克比己 高34回 | |
| // | 関川須賀子 高34回 | 下田 直昭 高34回 | 松浦 克彦 高35回 | 池田 記子 高35回 | |
| // | 大嶋かおり 高35回 | 時村 尚孝 高36回 | 岩澤 真季 高36回 | 長谷川 睦 高36回 | |
| // | 飯塚 健一 高37回 | 成瀬 正直 高37回 | 高橋由美子 高37回 | 行方 潔 高38回 | |
| // | 小泉 善克 高38回 | 塚瀬健太郎 高39回 | 山田 利明 高39回 | 佐藤 孝行 高40回 | |
| // | 五木田雅和 高40回 | 初芝 亨 高41回 | 石井 秀典 高41回 | 小暮 直 高42回 | |
| // | 小澤 隆生 高42回 | 旭 純弘 高43回 | 結城 正弘 高44回 | 森脇 文子 高44回 | |
| // | 石原亜希子 高45回 | 八木 俊明 高45回 | 神崎 清司 高46回 | 国井めぐみ 高46回 | |
| // | 小林 孝志 高47回 | 角田誠一郎 高48回 | 山田 晶子 高48回 | 平岡 将幸 高49回 | |
| // | 薩摩 恵子 高50回 | 三井田 学 高50回 | 篠原真喜子 高51回 | 広瀬 素久 高51回 | |
| // | 西川 靖弘 高52回 | 甲斐 友美 高53回 | 外館 辰徳 高54回 | 小嶋 瑞枝 高55回 | |
| // | 成田明沙美 高56回 | 青柳 信裕 高56回 | 金澤 邦生 高57回 | 南條 琴 高57回 | |
| // | 宮田 祐貴 高58回 | 後藤 慧 高59回 | 森 裕紀 高60回 | 渡辺 優季 高60回 | |
| // | 藤崎 詩音 高61回 | 加瀬竜太郎 高62回 | 藤崎 来夢 高63回 | 加藤 弘匡 高64回 | |
| // | 松尾 真珠 高64回 | 飯島 夏美 高65回 | 豊崎 圭 高65回 | 伊藤 太良 高66回 | |
| // | 久保 希秀 高66回 | 千倉 佳吾 高67回 | 山本 菜摘 高67回 | 片波見和輝 高68回 | |
| // | 大岩 零治 高68回 | | | 八田 菜々 高70回 | |
| // | 渡邊 充 高70回 | 滝澤 徳 高71回 | 都祭みやび 高71回 | 杉田 翔夢 高72回 | |
| // | 鈴木 夕斗 高72回 | | | | |

令和元年度 同窓会本部役員名簿

令和元年6月2日

| 役 職 | 氏 名 | (備考・卒業回等) |
|-------|--------|-----------|
| 会 長 | 実川 幸夫 | (高14回) |
| 副 会 長 | 塚瀬日出子 | (高14回) |
| 副 会 長 | 池田 忠彦 | (高15回) |
| 副 会 長 | 宮田 明俊 | (高18回) |
| 監 事 | 諸岡由吏子 | (高29回) |
| 監 事 | 小林 清治 | (高29回) |
| 監 事 | 神谷 修一 | (高29回) |
| 幹 事 長 | 山田 徳雄 | (高19回) |
| 副幹事長 | 石原 清 | (高 8回) |
| 会計幹事 | 渡邊 吉彦 | (高10回) |
| 会計幹事 | 岡田 茜 | (高61回) |
| 常任幹事 | 伊藤 睦 | (高 4回) |
| 常任幹事 | 長谷 朝則 | (高 6回) |
| 常任幹事 | ※土井 一彦 | (高18回) |
| 常任幹事 | 三橋 恒子 | (高29回) |
| 常任幹事 | 泉水 祐子 | (高32回) |
| 常任幹事 | 滝澤千香子 | (高39回) |
| 事 務 局 | 榎田伸一郎 | (高24回) |
| 総 務 | 深田富佐夫 | (総務部長) |

※常任幹事・同窓会報編集委員 土井 一彦氏は令和2年2月にご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈りします。

成田高等学校同窓会会則

- 第1条 本会は成田高等学校同窓会と称し、事務局を成田高等学校に置く。
- 第2条 本会は会員相互の親睦を図り、且つ母校の隆昌を企図することを以て目的とする。
- 第3条 本会の会員を次の通りとする。
- 正会員
1. 成田高等学校、同付属中学校、旧成田中学校、同併設中学校、成田高等女学校及び成田山女学校、成田英漢義塾を卒業の者。
 2. 上級学校へ入学のため旧成田中学校4年修了後退学した者。
- 特別会員
1. 成田高等学校の職員及びかつて職員であったもの。
 2. 旧成田中学校及び成田高等女学校の職員であったもの。
 3. 成田高等学校又は旧成田中学校及び成田高等女学校に特別の関係があって総会に於いて推薦されたもの。但し会員10名以上の推薦によるものとする。
- 第4条 本会の役員を次のとおりとする。
- 名誉会長 1名、 顧問 若干名、
会長 1名、 副会長 3名、
評議員 若干名、
常任幹事 若干名（幹事中より互選し、選出なきときは会長が委嘱し内1名を幹事長、1名を副幹事長、2名を会計幹事に互選する）
幹事 若干名（卒業毎に数名を選出する）
監事 3名（正会員中から会長が委嘱する）
- 役員改選は常任幹事会で決定し、総会の承認を得るものとする。
- 第5条 名誉会長には成田山新勝寺貴首を、顧問には理事長、校長及び会長の役職にあったもの、評議員には本会に功績のあった者、及び教頭、事務長、参事を推薦する。
- 第6条 会長以下の役員は正会員中から選出しその任期は4ヵ年とする。但し重任を妨げない。会長は会務を総括し、副会長は会長を補佐し、会長に事故があったときはこれを代理する。評議員は会長の諮問にこたえる。幹事並びに常任幹事は共に幹事会を組織し、本会の執行機関とする。
- 第7条 常任幹事は別に常任幹事会を組織し、直接会務の計画並びに遂行に任ずる。役員会常任幹事会は会長これを招集し、その決議は会長の承認を得て効力を生ずるものとする。
- 第8条 本会は役員会常任幹事会の決議によって総会を開催することができる。総会は毎年6月の第1日曜日に開催する。幹事長は総会に於いて本会事業の経過を報告するものとする。
- 第9条 総会並びに幹事会の議決は出席者の過半数を以て決する。但し可否同数の場合は議長の裁決による。
- 第10条 本会は会員名簿並びに会報を発行し、その他本会の主旨により必要と認めたる事項を行う。
- 第11条 本会の経費は会員寄付金又はその他の収入を以てこれを充てる。会費は終身会費3,600円以上とする。
- 第12条 会員が住所氏名を変更したときは、これを事務局に通知しなければならない。
- 第13条 会員が社会的顕著な功績があった場合、又は不慮の事故に遭遇した場合は本会の名に於いて会長が適当な慶弔の意を表することができる。
- 第14条 会員が多数居住する地方には本会支部を設置することができる。
- 第15条 本会則の変更は総会に於いて出席会員の過半数を以て決する。但し役員会に於いて代行することを得る。
- 附 則
- | | |
|--------------|--------------|
| 昭和30年8月21日制定 | 昭和60年6月 2日改定 |
| 昭和37年6月20日改定 | 昭和61年6月 1日改定 |
| 昭和49年6月 2日改定 | 平成16年6月 6日改定 |
| 昭和55年6月 1日改定 | |

令和2年 国公立・私立大学別合格者数（令和2年3月30日現在・既卒者を含む）

| 国立大学（49名） | | 私立大学（779名） | | | | | |
|------------------|-----|------------|-----|----------|-----|------------------|-----|
| 北海道大学 | 2名 | 青山学院大学 | 12名 | 大東文化大学 | 4名 | 明治大学 | 34名 |
| 岩手大学 | 1名 | 亜細亜大学 | 8名 | 高千穂大学 | 1名 | 明治学院大学 | 13名 |
| 秋田大学 | 1名 | 跡見女子大学 | 1名 | 拓殖大学 | 2名 | 明治薬科大学 | 1名 |
| 茨城大学 | 6名 | 桜美林大学 | 4名 | 玉川大学 | 5名 | 明星大学 | 3名 |
| 筑波大学 | 2名 | 大妻女子大学 | 2名 | 千葉工業大学 | 21名 | 立教大学 | 26名 |
| 埼玉大学 | 2名 | 学習院大学 | 12名 | 千葉商科大学 | 2名 | 立正大学 | 1名 |
| 千葉大学 | 15名 | 学習院女子大学 | 2名 | 中央大学 | 20名 | 立命館大学 | 13名 |
| 電気通信大学 | 2名 | 関西大学 | 1名 | 中央学院大学 | 2名 | 麗澤大学 | 2名 |
| 東京大学 | 2名 | 関西学院大学 | 1名 | 帝京大学 | 6名 | 早稲田大学 | 21名 |
| 東京外国語大学 | 2名 | 神田外語大学 | 6名 | 帝京平成大学 | 11名 | | |
| 東京学芸大学 | 2名 | 共立女子大学 | 7名 | 東京医大 | 2名 | | |
| 東京芸術大学 | 1名 | 杏林大学 | 4名 | 東京家政大学 | 3名 | | |
| 東京工業大学 | 1名 | 慶応大学 | 7名 | 東京家政学院大学 | 3名 | | |
| 横浜国立大学 | 1名 | 工学院大学 | 2名 | 東京工科大学 | 5名 | | |
| 上越教育大学 | 1名 | 国学院大学 | 17名 | 東京女子大学 | 2名 | 短期大学・専門学校 | |
| 信州大学 | 1名 | 国際医療福祉 | 11名 | 東京女子医大 | 2名 | 新渡戸文化短期 | 1名 |
| 静岡大学 | 1名 | 国際武道大学 | 1名 | 東京電機大学 | 5名 | 日大短期 | 1名 |
| 広島大学 | 1名 | 国土館大学 | 3名 | 東京都市大学 | 4名 | 日本医科学大学 | 1名 |
| 徳島大学 | 1名 | 駒澤大学 | 7名 | 東京農業大学 | 10名 | 日本工学院専門 | 1名 |
| 高知大学 | 2名 | 産業能率大学 | 1名 | 東京薬科大学 | 2名 | 千葉職経短大 | 1名 |
| 長崎大学 | 2名 | 実践女子大学 | 3名 | 東京理科大学 | 24名 | 桑沢デザイン研 | 1名 |
| 公立大学（10名） | | 芝浦工業大学 | 12名 | 東京未来大学 | 1名 | HAL東京 | 1名 |
| 釧路公立大学 | 1名 | 淑徳大学 | 3名 | 同志社大学 | 1名 | 国際情報理工学サ | 1名 |
| 前橋工科大学 | 1名 | 順天堂大学 | 4名 | 独協大学 | 11名 | | |
| 千葉県立保健医療 | 1名 | 上智大学 | 11名 | 東邦大学 | 20名 | | |
| 東京都立大学 | 2名 | 女子栄養大学 | 1名 | 東洋大学 | 54名 | | |
| 横浜市立大学 | 1名 | 昭和女子大学 | 1名 | 日本大学 | 83名 | | |
| 長野大学 | 2名 | 昭和大学 | 1名 | 日本女子大学 | 9名 | | |
| 岐阜薬科大学 | 1名 | 白百合大学 | 1名 | 日本看護大学 | 2名 | | |
| 島根県立大学 | 1名 | 成蹊大学 | 6名 | 日本体育大学 | 1名 | | |
| 大学校（2名） | | 成城大学 | 10名 | 法政大学 | 45名 | | |
| 防衛大学校 | 2名 | 聖心女子大学 | 1名 | 星薬科大学 | 2名 | | |
| | | 清泉女子大学 | 1名 | 武蔵大学 | 21名 | | |
| | | 専修大学 | 9名 | 武蔵野大学 | 16名 | | |
| | | 大正大学 | 1名 | 武蔵野美術大学 | 3名 | | |

成田高等学校の歴史

《沿革》

- 明治20年 成田山主三池照鳳大僧正により、母校の前身である修業年限3カ年の成田英漢義塾が創立される。
- 明治31年 成田山山主石川照勤大僧正は英漢義塾を閉塾し、新たに修業年限5カ年の私立成田中学校の設置認可を受ける。この日10月7日を母校の創立記念日と定める。
- 明治41年 修業年限3カ年の私立成田山女学校を創立。
- 明治44年 成田山女学校を閉校し、修業年限4カ年の私立成田高等女学校として認可を受ける。
- 昭和23年 学制改革に伴い、中学校、女学校を統合した。成田山文化事業財団を設置者とし、成田高等学校の設置認可を受ける。
- 昭和24年 併設中学校を閉校する。
- 昭和26年 私立学校法により、学校法人成田山教育財団の設置認可を受ける。
- 昭和41年 付属中学校の設置認可を受ける。
- 昭和42年 付属中学校を開校する。
- 昭和48年 付属小学校の設置認可を受ける。
- 昭和48年 付属小学校を開校する。
- 平成10年 創立100周年記念式典を挙げる。
- 平成24年 創立115周年記念校舎整備第1期事業として新校舎竣工式を挙げる。
- 平成25年 創立115周年記念校舎整備第2期事業として新武道館竣工式を挙げる。
- 平成25年 創立115周年記念式典を挙げる。(10月7日)
- 平成28年 田中康之氏が校長に就任
- 平成30年 創立120周年
- 令和元年 「平成」から「令和」に改元
- 令和2年 新型コロナウイルス流行で役員会・総会中止となる。



成田英漢義塾生（明治20年代）



成田女学校生（明治40年代）



成田中学校校舎落成（明治33年）



成田中学校生（明治45年当時）



成田高等女学校生・なぎなた（昭和初期）



旧校舎・体育館（昭和40年代）



現在の校舎並びに講堂兼体育館（右）

成田高等学校校歌

(成田高等学校・校歌集より)

成田高等女学校校歌

笹川臨風作詞 山田耕祐作曲

- 一、 暁あかつきの栄はえあるひかり 永とわの夜よの闇やみを破やぶる
 眠ねむりより覚さめし乙おとめ女めら なれなの世よぞ今いま目めの前まえに 美うつくしき望のぞみは満みてり
 学まなびの窓まどは楽そのおしき園そのお生まな 幸さちある前ゆくて途ていざこことほがはんん
- 二、 成おか田へなる岡さの辺へに咲さく 千ち枝えい五お百え枝よろ万すえ枝うめの梅うめ
 雪ゆき霜しもを凌しのぎ堪たえつつ ささきかけし色いろ匂におやかに 清きよき香かは四よ方ちに漂たふ
 学まなびの窓まどは楽そのおしき園そのお生まな 幸さちある前ゆくて途ていざこことほがはんん
- 三、 鐘かねの音ねは朝あさな夕ゆうなに 御み堂どうより森もりへと響ひびく 怠おこたるな勤つとめはげめと
 我われ等らをば教おしえ導みちびく 澄すみ渡わたる心こころ耳みみに冴さえて
 学まなびの窓まどは楽そのおしき園そのお生まな 幸さちある前ゆくて途ていざこことほがはんん

成田中学校校歌

尾上八郎作詞 小松耕輔作曲

- 一、 東ひんがしの海うみの夜よあけて うねりよる思想しゆの怒ど涛とう
 大おお八や洲しま岸しをとよもす さめよさめよ成せい 邱きゆうの健けん児じ
 二、 霊れい域いきは不ふ落らくのとりで 御みすかたは降こう魔まの守まもり
 葉は牡丹ぼたんの校こう旗きのもとに つどへつどへ成せい 邱きゆうの健けん児じ
 三、 勤こつ勉きと克じ己ひと慈ち悲ひと 忠ちゆう 勇ゆうと剛こう毅きと素そう朴ぼく
 楯たてとなし 剣つるぎとなして 立たてよ立たてよ成せい 邱きゆうの健けん児じ
 四、 すさまじき主しゆ義ぎのたたかひ おそろしき知ち識しのいくさ
 国くにのため勝か利りの冠かむり とれよとれよ成せい 邱きゆうの健けん児じ



成田高等学校校歌

白鳥省吾作詞 寺内昭作曲

- 一、 印ひろ旛のの広ひろ野の昇のぼる日ひは 不て動はの森もりに照てり映はえて 松まつと桜さくらの丘のの上の
 わが学まな舎やは輝あり 成なり田た高こう校こう吾が母ぼ校がう
 二、 希き望ぼうも若わかく広ひろぎ道みち 信しん念ねん堅かく朝あ夕ゆに 睦むつみて励そむ其そのの前ゆくて途て
 文ぶん化かの花はなも咲さき競せう 力ちからと光ひかりつねにあり
 三、 奮ふるえよ起たてよ新あたらしき 世よ紀きの鐘かねは高たか鳴なれり ああ葉は牡丹ぼたんの豊ゆたかなる
 永とわ劫やくなる生いのち命た讀よえつつ 成なり田た高こう校こう栄えあれ

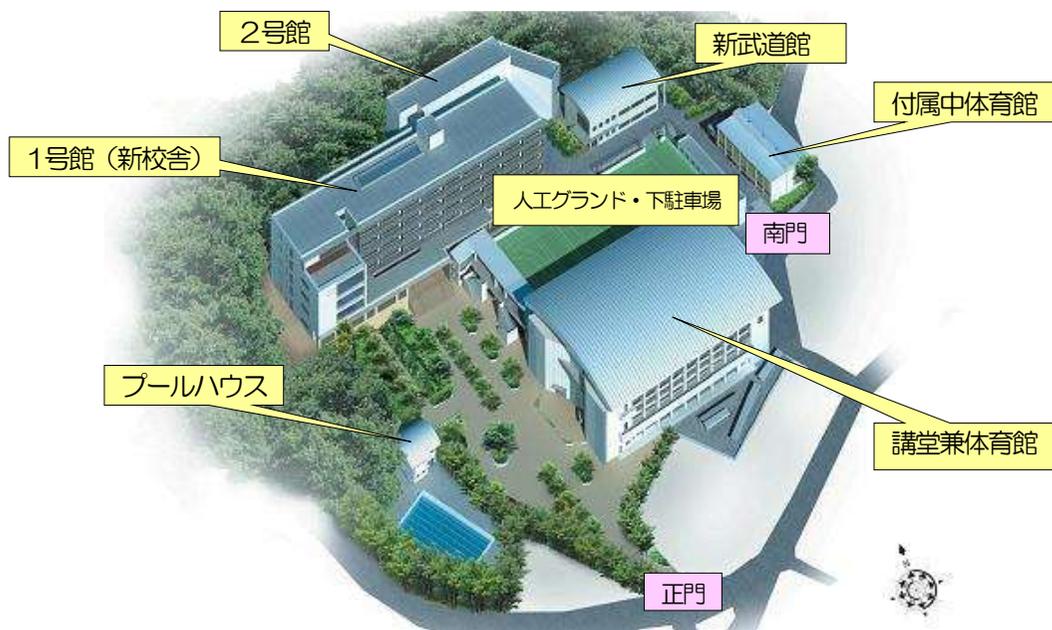


同期会幹事名簿（第31回卒業生）

令和元年度定例総会の幹事学年として、3月より活動を開始する予定でしたが、新型コロナウイルス流行のため、中止せざるを得なくなりました。次年度は第32回卒業生が幹事となります。

| 組 | 幹事氏名 | 幹事氏名 | 幹事氏名 |
|----|--------|--------|-------|
| A組 | 山村 大剛 | 一鍬田 孝 | |
| B組 | 佐々木 浩二 | 吉澤 忠男 | |
| C組 | 五十嵐 昭夫 | 鶴澤 温光 | |
| D組 | 小川 昌俊 | 弘海 政信 | 渡邊 昌美 |
| E組 | 石塚 昭利 | | |
| F組 | 伊藤 久世 | 佐藤 まさ代 | |
| G組 | 窪田 純子 | | |
| H組 | 宮本 貴子 | 金杉 美幸 | 近藤 恵子 |
| | | | 16名 |

【成田高等学校校舎配置図】



創立115周年を記念した「校舎整備事業」は、第1期工事『新校舎』、第2期工事『新武道館、校庭・植栽整備』が完了しております。引き続き、既存の施設の維持・整備につとめてまいります。今後とも同窓の皆様には、何卒ご協力をお願い申し上げます次第です。